

社会調査論特講

選択 2単位

花井 友美

1. 授業の概要(ねらい)

修士課程での修士論文作成及び学術研究論文の執筆においては、様々な調査によって得られたデータ・結果を読み取ること、適切にデータを収集し、分析することが必要とされる。本講義では、修士論文作成にあたり社会調査を行おうとする学生を対象とし、自分自身の関心に沿った社会調査を適切に実施し、分析するための基礎知識(社会調査の目的、各種調査方法の長所と短所、調査倫理など)を修得してもらうことを目的としている。さらに、授業内容を踏まえて、実際に調査の企画書を作成し、インターネットのアンケート調査作成システムを用いて、調査票を作成する。

2. 授業の到達目標

本講義を通して社会調査の基礎知識を学び、修士論文作成にあたり必要な調査を企画、実施することができるようになることを目標とする。具体的な到達目標は下記の通りである。

- ・社会調査の目的、各種調査方法の長所と短所、各種調査の実施の流れ、実施にあたっての注意点、調査倫理を説明できる。
- ・上記を理解した上で、実際に調査の企画書を作成し、インターネットのアンケート調査作成システムを用いて、調査票を作成することができる。

3. 成績評価の方法および基準

出席及び講義中の質疑応答、議論 40%

授業内でのテキストの発表 30%

発表 30%

4. 教科書・参考文献

教科書

轟亮・杉野勇 (2017)『入門・社会調査法[第3版]: 2ステップで基礎から学ぶ』 法律文化社

参考文献

盛山和夫 (2004)『社会調査法入門』 有斐閣ブックス

小田利勝 (2009)『社会調査法の基礎』 プレアデス出版

5. 準備学修の内容

上記テキストを熟読すること。受講者は最低1回テキストの一章の内容をまとめ、発表するので、その準備をすること。

授業後半では、各自の興味のあるテーマについて、インターネットの質問紙調査作成システムを用いて、調査票を作成すること。

やり方については授業内で説明するが、各自課題として調査票を作成すること。

6. その他履修上の注意事項

授業のなかで教員と学生との議論を期待する。

受講者の内容理解度などにより、授業の進捗具合は変更の可能性がある。

第1回目、第9回目授業をオンラインで実施する予定である。ただし、授業の進捗状況により変更する可能性がある。その場合は、授業内で連絡する。

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション・講義の全体構成の解説(オンライン授業)

【第2回】 社会調査とは何か

【第3回】 社会調査の種類

【第4回】 社会調査のプロセス

【第5回】 社会調査のデザイン

【第6回】 実査の方法

【第7回】 調査票の作成

【第8回】 サンプリング

【第9回】 調査の一連の流れ(オンライン授業)

【第10回】 演習(1)(調査企画書の作成)

【第11回】 調査企画書の発表

【第12回】 演習(2)(質問項目の作成)

【第13回】 演習(3)(調査票の作成)

【第14回】 演習(4)(分析計画書の作成)

【第15回】 分析計画書及び調査票の発表